

第33回 グローバルヘルス緩和ケア研究会

Global Health Palliative Care Society (GHPCS)

謹啓

先生方におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
この度、「グローバルヘルス緩和ケア研究会(Global Health Palliative Care Society; GHPCS)」
を下記の要領で開催させていただくこととなりました。
ご多忙中とは存じますが、ご参集賜りますようお願い申し上げます。

謹白

日時： 2018年7月5日(木) 18:30～20:00

会場： 国立国際医療研究センター

国際医療協力研修センター棟5階 大会議室

東京都新宿区戸山1-21-1

03-3202-7181(代表)

開会の辞

国立国際医療研究センター病院 緩和ケア科 医長
徳原 真 先生

18:30～18:40

製品説明

「最近の経腸栄養剤の話題について」

株式会社大塚製薬工場

特別講演

座長

フジモト新宿クリニック 院長 藤本 進 先生

『在宅医療と救急医療の協働が、地域包括ケアシステムを充実させる
～最終段階での補液:いつ、どのように、する、止める～』

演者

医療法人社団 親樹会 恵泉クリニック 院長
埼玉医科大学 総合医療センター 高度救命救急センター 客員教授
東京女子医科大学東医療センター 在宅医療部 客員教授
太田 祥一 先生

※ 参加費 : 医師 1,000円 その他 500円

※日本医師会生涯教育制度1単位が習得できます。

カリキュラムコード (22) (81) 申請中

※認定看護師更新時の研修実績として申告が可能です。

※日本緩和医療薬学会認定薬剤師資格 1単位取得できます。

共催：グローバルヘルス緩和ケア研究会
株式会社大塚製薬工場



Orange Balloon
Project

緩和ケア普及啓発事業
(オレンジバルーンプロジェクト)
に参加しています

お問い合わせ：国立国際医療研究センター内 グローバルヘルス緩和ケア研究会事務局
担当 鈴木 TEL/FAX 03-5273-6947